

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	国際水協会・水供給に関する運用と管理ネットワーク拠出金	事業開始年度	平成18年度	作成責任者		
担当部局庁	健康局	担当課室	水道課	水道課 粕谷 明博		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	途上国における水供給システムの運用及び管理に対する意識の向上と知識や技術の移転を目的として設立された水供給に関する運用と管理ネットワーク(Operation & Maintenance Network : OMN)の活動を支援することにより、我が国の水道事業者が有する水道の運用及び管理に対する高い技術力と豊富な経験等を途上国と共有することが可能となり、国際貢献に資する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	WHOの協力を得て、IWAが運営するOMNは、国際的な水供給に関する目標達成に大きく貢献する者であり、我が国の知見や経験を有効に活用できる分野における取り組みを進めており、我が国がOMNを支援していくことは、国際的に強く求められるものであることから、OMNの活動を支援するための資金を拠出するもの。					
実施状況	国立保健医療科学院がコーディネーターとなり、OMNの活動に参画し、開発途上国向けの研修ツールの作成、セミナーの開催を実施。 また、WHOへの短期派遣専門家による人的交流も行っている。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	17	16	15	14	13
	執行額	17	16	15		
	執行率	100.0%	100.0%	100.0%		
	総事業費(執行ベース)	17	16	15		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	報告書により把握				
	見直しの余地	「水供給に関する運用と管理のネットワーク」(OMN)の活動分野は、漏水対策などのわが国の水道が有する高い技術や知見の活用が有効な分野の一つである。 OMNの実施主体のIWAとWHOは、水道事業や水質管理に関係する代表的な国際機関であり、このような機関に対し資金拠出を行うことで、国際社会に大きな影響力を有するガイドライン等の作成への関与が可能となる、海外の関係情報の収集が容易になる、などのメリットがあり、引き続き必要な予算である。				
予算監視の効率化	水道事業や水質管理に関係する代表的国際機関であるIWAへの拠出金であるため、効率化は困難と考えられるが、有効に活用されるよう当該国際機関に働きかけるなど適切な執行に努めること。					
補記						

厚生労働省 15百万円

IWA/WHO共同プロジェクト  
を財政的に支援



【拠出金】

A. 国際水協会(IWA) 15百万円

公の利益になるような水供給の運用・  
管理に関する教育、訓練、研究の実  
施

資金の流れ  
(資金の受け取  
り先が何を行っ  
ているかについ  
て補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A. 国際水協会 (IWA)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
送金	WHOへ送金	8			
コンサルタント経費	コンサルタント経費	3			
旅費	旅費	1			
その他	会議費、諸経費等	3			
計		15	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0